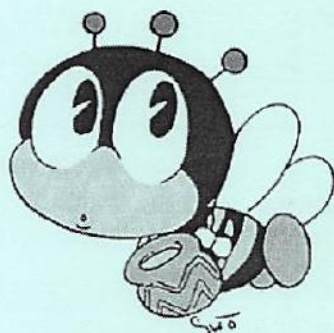


令和元年度 湯沢町生涯学習実施計画



生涯学習のマスコット“マナビ”

湯沢町教育委員会
子育て教育部
教育課 生涯学習係



目 次

1. 湯沢町生涯学習実施計画	P 1
・ 生涯学習目標	
・ 生涯学習推進方策と重点施策	
・ 社会教育施設及び関連施設等	
2. 生涯学習係体制	P 7
・ 生涯学習係の組織・機構	
・ 生涯学習事業に関する事務分掌	
・ 地区館・分館長	
3. 地域の概要と社会教育関係予算	P 10
・ 地域の概要	
・ 社会教育関係予算	
4. 社会教育関係委員	P 11
・ 教育委員会委員	・ 社会教育委員兼公民館運営審議会委員
・ 湯沢町スポーツ推進委員	・ 青少年問題協議会委員
・ 青少年育成指導員	・ 文化財保護審議会委員
・ 社会教育関係委員会活動計画	
5. 社会教育事業	P 14
・ 家庭教育	
・ 成人教育	
6. 公民館事業	P 17
・ 公民館事業	・ 公民館貸館・利用者数
・ 公民館図書室・湯沢学園図書室（一般開放）	
7. 地区館事業	P 19
・ 地区館事業	
・ 地区館配分子算	
8. 社会体育事業等	P 21
・ 社会体育目標	・ 社会体育重点施策
・ スポーツ大会	・ スポーツ教室
・ スキー振興	・ ユースポ！事業
9. 青少年健全育成事業・青少年教育	P 23
・ 青少年健全育成事業	
・ 青少年教育事業	・ 学園支援事業
10. 芸術・文化の振興	
・ 童画のまちづくり	P 26
11. 文化財保護事業	P 27
・ 湯沢町の文化財	
・ 歴史民俗資料館『雪国館』の運営	

平成 31 年度 湯沢町生涯学習実施計画

1. 生涯学習推進の目標

(目標像) 人が育ち、地域を育むまち

2. 生涯学習基本目標と重点施策

(1) 基本目標

1) 学ぶ

生涯学習の第一歩は「学ぶ」ことです。自らが自主的・自発的に学ぶことができるようにすることが重要です。

学びの内容や形態の多様化をはじめ、誰でも学ぶことのできる機会を提供します。学びの意欲が高まり、生きがいの発見や自己実現等へつながることで、「人の育ち」を支援していきます。

2) 活かす

生涯学習活動に係る指導者や支援者、ボランティアの存在は、生涯学習活動の活発化にとって重要です。また、学習した町民が積極的に生涯学習の指導者や支援者、ボランティアとして活動できるよう、活動の場を提供し、他の人々や次の世代へ繋げていくことを目指します。

また、童画のまちづくりの推進や文化財の保護等を進めることで、町の文化の継承に繋がります。

3) 広げる

生涯学習活動の充実や学習する機会を増やすためには、情報提供や町民の自主的活動への継続した支援が必要です。

そのため、情報提供の強化や学校教育と社会教育の連携の強化、生涯学習施設間の連携の円滑化等を通じ、町民が生涯学習について知ることができ、取り組むことのできる機会を増やします。

4) 支える

生涯学習に係る環境の整備・充実は、生涯学習活動の基盤を支えるために欠かすことはできません。

公民館の開放や図書室の充実のほか、湯沢学園や湯沢町総合型地域スポーツクラブ ユースポ!との連携等を通じて、生涯学習の環境や体制の整備・充実を図り、生涯学習のさらなる推進を目指します。

(2) 重点施策

1) 学ぶ

① 家庭教育と子育て支援

少子化や核家族化の増加は、今後も続くと予測されています。また、児童虐待の増加や子どもの問題の深刻化等、親や保護者も含めた家庭教育のあり方がますます重要となっています。さらに、核家族化や地域のつながりの希薄化等は、育児ストレスや育児の抱え込みといった問題に繋がることもあります。

そのため、親子で交流できる機会の提供や、子育てをしている人同士で子育てについて話し合いができる場の提供、子育ての体験学習等、「地域で子育てをする」という視点に立ち、地域とも連携しながら取組を進めます。

② 成人教育（公民館講座）

ライフスタイルや価値観の多様化、社会情勢の変化等から、生涯学習へのニーズも多様化しています。そのような多様化したニーズに対応するため、趣味・学習・生活を柱とした講座を推進します。また、生涯学習人材バンクの周知と拡充を通じて講師の確保を行い、開設期間や時間帯等を考慮しながら、学習機会の充実を図ります。

成人講座では、あらゆる年代に対応できる学習形態を取り入れ、世代間交流や人とのつながりにも繋がるようにします。また、性別や年齢等にとらわれない講座の開設や、より多くの町民が参加できるような講座の開設を目指します。

魚沼地域定住自立圏構想に基づき、南魚沼市、魚沼市と合同の講座を開催し、魅力ある講座の開設を目指します。

③ 高齢者教育

高齢者人口は一貫して増加しており、平成31年3月末には2,980人(高齢化率36.28%)、計画最終年度の平成37年度には3,192人と推計されており、今後も増加が続くと予測されています。

高齢者が自立した生活を送りながら、生涯学習を楽しみ、いきいきと健やかに過ごすことのできる社会を目指し、関係各所と連携・協調しながら取り組みます。

④ 青少年教育

次の世代を担う青少年を育てるため、学校・家庭・地域と連携・協働しながら、体験活動の参加機会の充実を目指します。生活・自然体験、ボランティア活動等を通じて、連帯意識・自主性・自立性等を育みます。

また、児童生徒を育むには地域との連携・協力が欠かせないことから、放課後の子どもの居場所等について研究していきます。

⑤ 人権啓発学習

同和問題や外国人への差別等、様々な人権問題に対して、町民の正しい理解と認識を深めるため、研修会や講演会等を充実します。

観光インバウンド施策などにより、町内在住の外国籍の方が増えてきています。仲間をつくり、日本語や日本の生活習慣を学ぶ交流の機会を設けます。

また、男女共同参画社会を推進し、様々な分野に性別に関わりなく参画でき、多様な生き方を選択できる、いきいきとした社会の実現を図ります。

2) 活かす

① 学習成果を活かす循環型生涯学習の推進

生涯学習の推進については、学習機会の充実も必要ですが、個人が学習した成果を地域社会における様々な社会活動や教育活動に活かすことが大切です。そのため、学習成果が活用できる環境整備を行います。

② 芸術・文化の振興

芸術や文化に触れることは、豊かな感性を磨き、人としての成長に欠かすことはできません。文化祭や童画展の開催等を通じて、芸術や文化にふれる機会の提供に努めます。また、地域で活動を行っている団体やサークル等に、ふれあいコンサート、文化祭、芸能発表会等の場を提供し、団体の育成に努めます。

今年度開催の国民文化祭・全国障害者芸術文化祭に積極的にかかわり、町及び県内の文化の振興に努めます。

③ 童画のまちづくり

新潟県に生まれ、その晩年を湯沢町で過ごした川上四郎の功績を記念した、日本童画の父 川上四郎記念「越後湯沢全国童画展」を継続開催します。この童画展で入賞・入選した作品を湯沢町の公共施設等に展示することによって、町に住む方々、町を訪れた方々の心を和ませ、湯沢町の文化的な一面を担う童画のまちづくりに貢献していきます。

また、「童画のまちづくり」について、短期・中期等の期間も考慮しながら、童画というジャンルの浸透とともに、童画のまち・湯沢の認知度を高めていきます。

加えて、童画美術館建設に向けた調査・検討を進めます。

④ 文化財保護と歴史民俗資料館「雪国館」の運営

町内の各種指定文化財の保護・保全に努めるとともに、町史編さん事業で調査された重要な文化財の保護について検討し、必要に応じて文化財の指定を行います。

また、点在する埋蔵文化財については、開発事業により遺跡・史跡等の包蔵地が破壊されることのないよう、町民や事業者に対して啓発を実施していきます。

建物が町に譲渡された新潟県指定文化財 三国街道脇本陣跡池田家の有効活用を検討していきます。

「雪国館」の管理運営は指定管理者が行っていますが、貴重な歴史・民俗資料等の保全管理は引き続き町が関与していきます。また、指定管理者による管理運営が円滑に進むよう連携していきます。

3) 広げる

① 生涯学習の体系化及び情報提供

学習機会の拡充には、学習内容の量的拡大、質的な改善、学習方法の多様化等に応じ、整理・体系化して提供することが重要です。

また、関係団体等で実施する教室等、生涯学習に関連する事業への支援・協力及び情報提供を行います。

② 社会教育関係団体（サークル）等の活動促進

生涯学習の振興のためには、活動を行っているサークル等への支援が必要です。情報やノウハウの提供、ボランティアの紹介等の支援を行います。

また、サークル等の生涯学習活動が自立できるよう、施設使用料の減免等、活動を支援します。

③ 公民館（本館・地区館）活動の振興

生涯学習社会において、公民館活動の果たす役割は重要です。本館活動だけでなく、地域に根ざした地区館活動、分館活動を、地区と連携・協力しながら推進していきます。特に地区館活動は、それぞれの地域の特色を生かした独自の行事を通して、地域のきずなを強め、心の通った地域づくりを目指します。

④ 多様な生涯学習の推進

環境保全やリサイクル等の環境問題、特産品やまちづくりの振興、鳥獣害対策地域づくり等の産業振興についての理解や学習活動への支援を行います。

また、障がい者を含め、全ての町民が等しく生涯学習に参加できるよう環境を整備していきます。

4) 支える

① 公民館の貸館・開放事業

湯沢町公民館を生涯学習施設の中心施設として位置づけ、その役割を充実していきます。さらに、公共の福祉に沿った施設開放に心がけ、町民の誰もが利用できる体制づくりをし、貸館を通じて利用者を成長させ、人づくり・地域づくりを進めます。

また、成人には学習やサークル活動の場として開放し、子育て中の親子にはふれあいの場と情報交換のための場として開放します。これらの活動の中から生まれた「サークル」等には、積極的に公民館の利用を促進し、生涯学習の拠点としての公民館の役割を担っていきます。

② 公民館図書室の充実

専門家による選定や新刊書の購入、湯沢学園の図書室との連携、南魚沼市・魚沼市との図書館の相互利用、新潟県立図書館との連携等、図書環境の充実と利用者の利便性向上を図ります。

今後、広報等による情報提供や読書活動の啓発を行い、誰もが気軽に利用できる図書室運営を目指します。

③ 学園支援事業

湯沢学園内に併設されている「地域交流センター」を拠点とした、学園支援コーディネーターを配置しています。学園、地域の要望を取りまとめ、学園支援ボランティアの協力体制を整備し、授業やクラブ活動の補助、図書室の整理・貸出し補助、環境整備、環境美化、登下校の見守り等、学園・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えていきます。

児童・生徒が、親世代や祖父母世代のボランティアと交流することで、学園では学べな

い知識や風習、生活の知恵など、いわゆる生涯学習の機会となります。

また、本事業を推進することで、教員の教育活動への専念や子どもと向き合う時間が増えることも、目的の1つとして見据えています。

④ 生涯スポーツの推進

平成24年2月に「湯沢町総合型地域スポーツクラブ ユースポ！」が設立され、スポーツ関係業務の多くはユースポ！に移行しました。これにより、行政主導であった地域のスポーツ振興が「住民（クラブ）主導」へと変わっています。

ユースポ！の運営基盤の確立には、行政の支援が不可欠であることから、町とユースポ！との連携強化に努めることで、生涯スポーツの推進及びスキーを含めたウィンタースポーツを推進します。

⑤ 青少年健全育成

いじめや不登校等の社会問題以外にも、青少年による犯罪や事件が散見されます。

また、少子化や地域とのつきあい方の変化、ICT ツールの発達によるコミュニケーションの取り方の変化等、青少年を取り巻く環境は常に変化しています。

青少年が健やかに育成するためにも、学校・家庭・地域社会との協力・連携が必要です。青少年育成センターの「大人が変われば、子どもも変わる」「大人が環境をつくり、環境が青少年を育てる」を理念に、関係機関・関係団体・地域社会が連携しながら、青少年に望ましい社会環境の構築を目指します。

また、「育成センターだより」等を通じ、青少年健全育成について広報・啓発活動を行い、町民の意識高揚に努めます。

3. 社会教育施設及び関連施設等

【町施設】

湯沢町公民館	大源太キャニオン「青少年旅行村」
湯沢町歴史民俗資料館『雪国館』	湯沢温泉ロープウェイ、コマクサの湯
湯沢町公民館浅貝分館	湯沢高原「アルプの里」
地域交流センター（青少年育成センター）	湯沢高原スキー場
湯沢町総合子育て支援センター「JumPla.net」	フィッシングパーク（2ヶ所）
湯沢町保健センター（地域包括支援センター）	旭原花の郷
湯沢町保健医療センター、健康増進施設	陶芸工房「旭窯」
湯沢町総合福祉センター	大源太工房
湯沢カルチャーセンター	山鳥原公園
湯沢中央公園	旧三俣小学校体育館・グラウンド
湯沢レジャープール「オーロラ」	旧土樽小学校体育館・グラウンド
湯沢町農山村開発センター	旧湯沢小学校体育館・グラウンド
共同浴場（外湯5施設、足湯2施設）	新潟県指定文化財三国街道脇本陣跡池田家

【学校開放施設】

湯沢学園体育館・柔道場・グラウンド

【町内関係施設】

二居集会所	原集落開発センター
三俣地区館	小坂公民館
八木沢大島生活改善センター	滝ノ又会館
芝原生活改善センター	谷後開発センター
七谷切生活改善センター	旭原振興センター
戸沢生活改善センター	萩原集会所
平沢生活改善センター	松川生活改善センター
神立中央集会所（田中）	土樽集落開発センター
堰場公民館	古野二集会所
原新田町内会ふれあい会館	下湯沢公民館
神立中央会館（栄町）	楽町会館
下神立公民館（宮林）	石白会館
中子添名集落開発センター	

【民間施設】

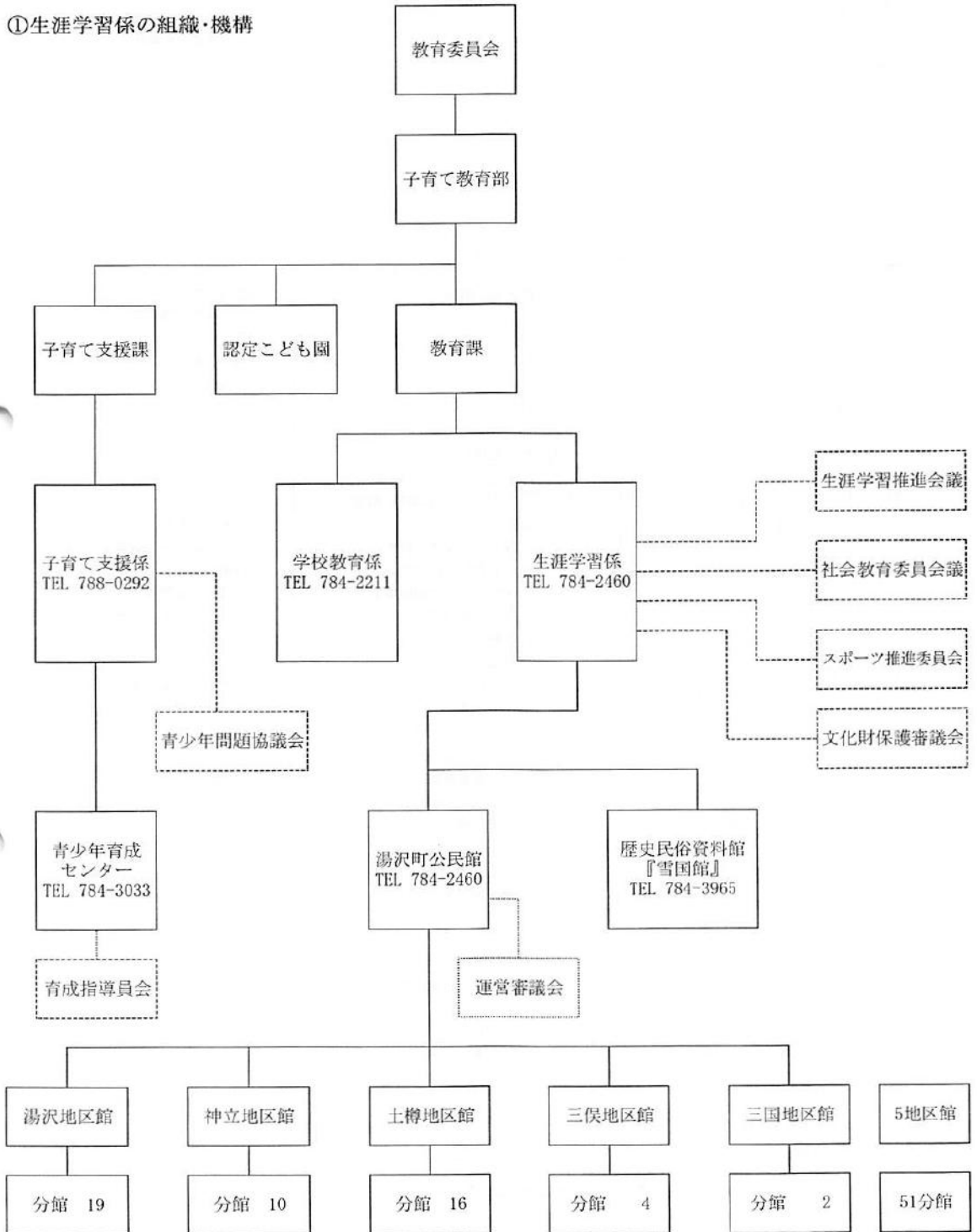
きり絵 関口ココミュージアム湯沢	ゴルフ場（1施設）
電力ミュージアム「OKKY」	パー3ゴルフコース（1施設）
高半ホテル「かすみの間」	ゴルフ練習場（1施設）
温泉施設（8施設）・公衆浴場（1施設）	スキー場（12施設）

【公共施設】

登山コース	雪国文学散歩道（2コース）
トレッキングコース（2コース）	

2. 生涯学習係体制

①生涯学習係の組織・機構



②生涯学習事業に関する事務分掌

湯沢町教育委員会

- ・教育長
- ・青少年育成センター長
- ・ジュニアスキー選手育成会長

島村 文男

TEL784-2211
FAX784-3583

- ・子育て教育部長

高野 剛

TEL784-2211
FAX784-3583

- ・子育て教育部教育課長

中村 陽子

TEL784-2211
FAX784-3583

<湯沢地区館担当>

- ・子育て教育部子育て支援課長
- ・総合子育て支援センター長
- ・青少年育成センター次長

宮田 玲

TEL788-0292
FAX788-0030

- ◎認定こども園の運営総括
- ◎子育て支援事業総括

- ・子育て支援係長

田村美和子

- ◎子育て支援事業

- ・主任保健師

南雲 かおる

- ◎療育事業
- ◎子育て支援事業
- ◎病児保育事業
- *要保護児童対策協議会
- <土樽地区館担当>

- ・主任保育士

久保田めぐみ

- ◎家庭教育
- ◎子育て支援事業

- ・社会教育指導員
- ・青少年育成専門指導員

林 富子

TEL784-3033 (地域交流センター)
FAX784-2243

- ◎青少年健全育成事業
- ◎青少年教育事業
- ◎子ども・若者育成支援
- ◎学園支援事業
- *青少年問題協議会事務局
- *青少年育成センター事務局
- *青少年育成指導員会事務局
- *学園支援コーディネーター連絡協議会事務局

- ・参事兼生涯学習係長
- ・湯沢町公民館長

岩崎 裕一

TEL784-2460
FAX784-3737

- ◎総括
- ◎生涯学習の推進・振興
- ◎生涯学習計画等の立案
- ◎広域的生涯学習関係事業
- ◎人権・同和教育
- ◎地区館活動の推進
- ◎資料館「雪国館」
- ◎童画美術館建設
- ◎スキー振興
- *生涯学習推進会議
- *社会教育委員会
- *公民館運営審議会
- *地区館長・分館長会議
- <神立地区館担当>

- ・嘱託管理指導主事

佐藤 洋一

- ◎保護者支援
- ◎学習指導・児童生徒支援
- ◎学校安全、いじめ生徒指導
- ◎保小中連携
- ◎子ども貧困対策
- *就学支援委員会

- ・主任

井熊 靖

- ◎生涯スポーツに関すること
- ・社会体育現況調査
- ・青少年海外研修
- ・全国大会等出場者激励
- *スポーツ推進委員
- ◎総合型地域スポーツクラブとの調整
- ◎施設管理・修繕
- ・公民館本館
- ・浅貝分館
- ・資料館
- ◎芸術文化活動支援
- ◎広報窓口・ホームページ編集
- ◎スキーリフト共通乗車証の発行
- ◎視聴覚教育
- <中公連主事部会>
- <芸術協会事務局>
- *南魚沼美術展
- <三国地区館担当>

- ・主事

南雲 香奈

- ◎予算執行管理
- ◎越後湯沢全国童画展
- ◎童画のまちづくり推進
- ◎図書室の管理運営
- ◎男女平等参画の振興
- ◎公民館事業(成人式・文化祭)
- ◎文化財の保護・管理
- *文化財保護審議委員会
- <三俣地区館担当>

- ・公民館嘱託員

松田 加織

- ◎文書受付管理
- ◎成人講座の企画運営
- ◎社会教育関係団体
- ◎貸館管理
- ◎学校開放
- ◎公民館総合補償制度
- ・スポーツ安全保険

図書室管理補助員
(パート職員)

樋口 美樹

殿村 富久男

角谷 恵美子

③地区館長・分館長

(任期：H31.4.1-H33.3.31：地区館長)

三国地区館

職名	氏名	備考
顧問	師田富士男	浅貝町内会長
顧問	小池幸男	二居町内会長
地区館長	綿貫 悟	
担当	井熊 靖	教育委員会職員
分館	分館長名	世帯数
01 浅 貝	新井一州	125
02 二 居	富沢清美	35
計	2分館	160

三俣地区館

職名	氏名	備考
顧問	池田 貢	三俣一町内会長
地区館長	村山 望	
担当	南雲香奈	教育委員会職員
分館	分館長名	世帯数
04 三俣1	種村典剛	35
07 三俣2	原田満義	36
08 大 島	森下 茂	15
09 八木沢	腰越英明	13
計	4分館	99

土樽地区館

職名	氏名	備考
顧問	南雲辰夫	小坂町内会長
地区館長	高波泰斗	
担当	南雲かおる	教育委員会職員
分館	分館長名	世帯数
20 中 子	南雲正明	91
21 添 名	牛木 等	33
22 原	南雲正樹	54
22-1 西原	山田繁展	12
23 小坂	南雲武仁	40
24 滝ノ又	南雲正和	28
25 谷 後	樋口直孝	27
26 旭 原	片桐幸輝	18
27 萩 原	水落 仁	27
28 中 里	並木幸治	59
29 古野1	角谷孝幸	34
30 古野2	高橋正人	72
31 松 川	半澤英和	40
32 土 樽	劔持秀人	26
33 岩原高原	横田真吾	7
34 土樽スキー場	高波泰斗	3
計	16分館	571

神立地区館

職名	氏名	備考
顧問	南雲正史	原新田町内会長
地区館長	角谷誠次	
担当	岩崎裕一	教育委員会職員
分館	分館長名	世帯数
10 栄 町	小沢勇雄	72
11 芝 原	角谷 元	18
12 七谷切	笛田善行	14
13 戸 沢	角谷駿太	29
14 平 沢	白井正明	22
15 田 中	南雲健一	43
16 堰 場	斉木広光	117
17 原新田	原澤和人	125
18 小 原	笛田定男	22
19 宮 林	立柄佳範	39
計	10分館	501

湯沢地区館

職名	氏名	備考
顧問	森下家継	下熊野町内会長
地区館長	横田英隆	
担当	中村陽子	教育委員会職員
分館	分館長名	世帯数
35 一之町	富沢佳史	212
36 駅 通	川村童平	56
37 上 中	野口敦子	87
38 谷 地	太田口潤	60
39 楽 町	菅原幸雄	65
40 下 中	八子智則	26
41 幅 下	井熊 徹	44
42 諏 訪	高井信秀	22
43 愛 宕	林 義憲	55
44 堀 切	池田慎一	9
45 湯 元	田村翔翔	16
46 布 場	島村豊輝	45
47 滝 沢	松崎正幸	32
48 西 中	上村桂一朗	140
49 西 山	滝沢祐太	40
50 下熊野	桑原正文	42
51 上熊野	星野浩二	48
54 石 白	勝見公一	121
55 湯鉄神立	梶沢 望	6
計	19分館	1,126

地区館名	分館数	世帯数
三国地区館	2	160
三俣地区館	4	99
神立地区館	10	501
土樽地区館	16	571
湯沢地区館	19	1,126
計	51	2,457

*世帯数は町内会からの届出数

3. 地域の概要と社会教育関係予算

[面積・人口・世帯数・産業別人口]

平成31年4月1日現在

面積	357 k m ²		
人口	8,134 人	(前年度末比 - 52 人)	
世帯数	3,863 世帯	(前年度末比 + 10 世帯)	
産業別人口 H27 国調	第1次産業	153 人	(男 110人、女 43人) 3.6 %
	第2次産業	586 人	(男 486人、女 100人) 13.6 %
	第3次産業	3,538 人	(男 1,864人、女 1,674人) 82.4 %
	分類不能の産業	18 人	(男 8人、女 10人) 0.4 %
	合計	4,295 人	(男 2,468人、女 1,827人) 100.0 %

※H27産業別人口(国調)はH29.6月公表

[地区別世帯数及び人口]

平成31年4月1日現在

	世帯数	人口	男	女	地区別人口比率	備考
三国地区	313	516	299	217	6.3%	
三俣地区	104	256	120	136	3.1%	
神立地区	651	1,485	737	748	18.3%	
土樽地区	1,259	2,768	1,417	1,351	34.0%	
湯沢地区	1,536	3,109	1,536	1,573	38.2%	
計	3,863	8,134	4,109	4,025	100.0%	

[予算概要]

(単位：千円)

項目	平成31年度当初予算	平成30年度当初予算	比較
一般会計予算総額	6,902,000	6,984,404	▲ 82,404
教育費	367,557	368,963	▲ 1,406
社会教育総務費	3,161	2,800	361
公民館費	57,705	32,179	25,526
文化財保護費	14,343	22,377	▲ 8,034
生涯スポーツ推進費	21,318	23,375	▲ 2,057
子育て総合支援費	16,666	14,693	1,973
社会教育関係費計	113,193	95,424	17,769

4. 社会教育関係委員

【教育委員会委員】

平成31年4月1日現在

NO	役職名	氏名	住所	備考
1	教育長	島村文男	教育委員会	
2	委員	北原雄一	上中	教育長職務代理
3	委員	小沢正子	二居	
4	委員	南雲敬一	古野一	
5	委員	上村麻美	原新田	

【生涯学習推進会議委員】11名

【社会教育委員兼公民館運営審議会委員】9名

任期：H31.4.1～H33.3.31

NO	氏名	選出分野	住所	備考
1	駒形理英	湯沢小学校長	湯沢小学校	1号 社教委・公運審
2	須田雄一	湯沢中学校長	湯沢中学校	1号 社教委・公運審(新)
3	高橋淳夫	体育協会長	上中	2号 社教委・公運審
4	宮下真弓	スポーツ推進委員会長	堰場	2号 社教委・公運審(新)
5	土谷俊幸	ボランティア連絡協議会	原新田	2号 社教委・公運審
6	高井陽子	湯沢中学校PTA会長	古野二	3号 社教委・公運審(新)
7	関明美	識見を有する者、生涯学習イストラクター	三俣一	3号 社教委・公運審
8	高橋政弘	識見を有する者	一之町	3号 社教委・公運審
9	南雲悟	識見を有する者	堰場	3号 社教委・公運審(新)
10	田村雅和	健康福祉部長	湯沢町役場	1号 推進会議委員
11	高野剛	子育て教育部長	湯沢町役場	1号 推進会議委員

【湯沢町スポーツ推進委員】

任期：H31.4.1～H33.3.31

NO	役職名	氏名	住所	備考
1	会長	宮下真弓	堰場	
2	委員	飯塚由加	萩原	
3	〃	里吉常代	上熊野	
4	〃	井熊充	滝ノ又	
5	〃	青山浩太	戸沢	
6	〃	中島弘	中子	
7	〃	高橋淳也	原新田	
8	〃	関俊	石白	
9	〃	師田洋子	浅貝	
10				

【青少年問題協議会委員】 事務局：子育て支援課 ※いじめ問題連絡協議会の役割兼ねる

NO	委員	氏名	選出分野	住所	備考
1		田村 正幸	湯沢町長	湯沢町役場	会長
2	1号	岸野 雅人	湯沢町議会議員	楽 町	
3	2号	北原 雄一	教育委員	上 中	副会長
4	2号	島村 文男	教育長	湯沢町教育委員会	
5	3号	高橋 政弘	社会教育委員長	一之町	
6	4号	腰越 忠	民生委員会長	栄 町	
7	5号	駒形 理英	湯沢小学校長	湯沢小学校	
8	5号	須田 雄一	湯沢中学校長	湯沢中学校	(新)
9	6号	高野 剛	子育て教育部長	湯沢町役場	幹事(新)
10	7号	田村 雅和	健康福祉部長	湯沢町役場	(新)
11	8号	吉田 智明	湯沢交番所長	湯沢交番	(新)
12	9号	高井 陽子	湯沢中PTA会長	古野二	(新)
13	10号	小林 庄一	湯沢町観光協会長	滝 沢	
14	11号	中村 亨	青少年育成指導員会長	谷 地	

任期：1～8号委員…在職期間 9～11号委員…平成31年4月1日～平成33年3月31日

【青少年育成指導員】 事務局：子育て支援課 任期：H31.4.1～H33.3.31

NO	氏名	住所	備考
1	高野 三枝子	浅 貝	
2	池田 明実	二 居	
3	山柴 かが里	三俣一	副会長
4	森下 志摩	三俣二	
5	岡部 角栄	田 中	(新)
6	南雲 弘	宮 林	
7	笛田 道夫	七谷切	
8	高橋 尚美	古野二	
9	田村 友恵	駅 通	(新)
10	高橋 弘美	駅 通	
11	南雲 千春	滝ノ又	
12	中村 亨	谷 地	会長 (スクールガードリーダー)

【文化財保護審議会委員】 任期：H31.4.1～H33.3.31

NO	氏名	住所	備考
1	高橋 はるみ	湯 元	
2	南雲 寛樹	小 原	
3	原 澤 健	中 里	
4	池田 博子	三俣一	委員長
5	師田富士男	浅 貝	

【社会教育関係委員会活動計画】

事業名	主 旨	対 象	期 日	会 場
社会教育委員会議 兼 公民館運営審議会	生涯学習計画立案、その他諸 問題の審議研究調査する 公民館事業の運営を審議する	社会教育委員兼 公民館運営審議 会委員	3回 必要ある時	湯沢町公民館
生涯学習推進会議	生涯学習推進施策に関する調 査審議	生涯学習推進 会議委員	1回	湯沢町公民館
スポーツ 推進委員会	スポーツ活動の振興について 審議する	スポーツ 推進委員	8回 必要ある時	湯沢カルチャーセンター
文化財保護審議会	文化財の保護及び活用に関す る事項を調査審議する	文化財保護 審議会委員	2回	湯沢町公民館
地区館長会議	地区公民館事業の実施につい て協議する	地区館長 地区館担当	1回 必要ある時	湯沢町公民館
分館長会議	本館・地区館・分館事業の実 施について協議する	分館長	1回 必要ある時	湯沢町公民館 他

(子育て支援課主管)

青少年問題協議会	青少年健全育成について審議 し、実施する	青少年問題 協議会委員	1回 必要ある時	湯沢町役場
青少年育成 指導委員会	育成活動推進計画について審 議する	育成指導員	3回	地域交流 センター

5. 社会教育事業

家庭教育

(主管：子育て支援課)

少子化、核家族化、雇用環境の変化などにより、地域とのつながりの希薄化や親が身近な人から子育ての仕方を学んだり、助け合う機会の減少など、子育てや家庭教育を支える地域環境が大きく変化しています。そうした中、仕事と子育ての両立が難しい、忙しくて時間的・精神的ゆとりを持っていないなど、子育てについての不安や孤立を感じながら子育てしている家庭が増えてきています。

また、基本的な生活習慣の乱れ、子育ての放任や過保護、虐待等により、子どものからだやこころの発達に影響を及ぼしている家庭もあります。

家庭は、子どもたちの健やかな育ちの基盤であり、家庭教育は、全ての教育の出発点です。家族のふれあいは、子どもが基本的な生活習慣や生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやり、基本的倫理観、自尊心や自立心、社会的なマナーなどを身につけていく上で重要な役割を果たしています。

保護者の方が安心して子育てや家庭教育ができるよう、親としての学びの機会を提供していきます。

事業名	対象	会場	期間	目的と内容	
読み聞かせ事業	絵本のひろば	未就学の親子	総合子育て支援センター	月1回	心豊かな子どもを育てる絵本の読み聞かせ 親への読み聞かせ指導 ふれあいひろばの中で実施
	ブックスタート事業	3~4ヶ月児	総合福祉センター	4ヶ月健診時	絵本の読み聞かせの薦めと絵本の配布 図書室利用促進のため図書利用カードの発行

上記事業以外にも家庭の教育力を向上させるために、子ども・子育て支援事業計画に基づき、湯沢町総合子育て支援センターを主体として下記の地域子育て支援拠点事業を行っています。

【関係する主な地域子育て支援拠点事業】

- ・ 育児講座
- ・ ふれあい広場
- ・ その他子育て支援事業

成人教育(公民館講座)

平成21年度より、人材バンク登録者(平成31年4月現在 49名)による自主講座を開始。
生涯学習の課題である“自分の自発的意思”で学ぶサークル活動への足がかりとして開設するものであり、習得したことを地域等に還元することを目的とする。
成人の自己教育力の向上として地域の文化活動向上を目指し、ゆとりのある生活、明るい地域づくりを進める。

長期講座

講座名・事業名	内容	回数・期間	曜日	講師名(敬称略)	備考
はじめてのはがき絵講座	水彩絵の具で描くはがき絵の基礎や描き方を学ぶ	7回 5月～11月	水	錦戸敬子	
陶芸講座	陶芸の初歩的技術を学ぶ	20回 5月～10月	月	陶芸サークル	
ブライダートフラワー講座	ブライダートフラワーでアレンジメントの基本を学ぶ	6回 5月～11月	第3火	須山美佐子	
大人の「はじめてのピアノ」講座	ピアノ演奏を通じ、音楽の楽しさを体験する	20回 5月～3月	火	高橋明美	
脳トレ&うたごえサロン	歌や音楽で簡単なゲームをしながら脳を活性化	3回 5月～7月	第3水	高橋明美	
西洋書道カリグラフィー講座	アルファベットの書道といわれるカリグラフィーを基礎から学ぶ	6回 5月～11月	金	野口 恵以	
セルフリンパケア講座	疲労・腰痛・肩こり解消など、自宅で出来るリンパケアを学ぶ	5回 5月～10月	土	中町 みえ	
きもの着付け講座	着物や浴衣の着付を学び、着物に親しみ気軽に楽しんでもらう	12回 5月～10月	月	高橋 徳子	
湯沢の古文書入門講座	湯沢に残る古文書を使い、解説の基礎を学ぶ	12回 5月～11月	第2・4水	笛木 孝雄	
たのしいハングル講座	コミュニケーションを取りながら楽しく韓国語を学ぶ	18回 5月～11月	木	崔 和子	
実用英会話講座(昼)	海外旅行などで役立つ、より実用的な英会話の習得	18回 5月～12月	金	ALT	
実用英会話講座(夜)	海外旅行などで役立つ、より実用的な英会話の習得	18回 5月～12月	火	ALT	
湯沢の自然と歴史にふれる講座(初級)	自然に親しみ、自然の大切さ、自然保護意識の向上を目指す	7回 5月～11月	水	高橋正明	
湯沢の自然と歴史にふれる講座(中級)	湯沢の自然と、先人たちの足跡や石仏を探りながら、湯沢の歴史に触れる	7回 5月～11月	火	高橋正明	

短期講座

講座名・事業名	内容	回数・期間	曜日	講師名(敬称略)	備考
女性のためのリンパケア講座	フェイシャル・骨盤ケアなど女性のためのセルフリンパケア講座	5/18、7/20、10/12	土	中町 みえ	
季節のハーバリウム講座	新しいフラワーアレンジとして人気のハーバリウム作り体験	5月11日	土	須山 美佐子	

※女性講座・高齢者講座については、世代間の交流、異性間の交流を意図し、それぞれの位置付けを明確にせず、女性向け・高齢者向けと思われる講座であっても成人講座とする場合がある。

※長期の講座だけでなく、短期講座を適宜開設する予定。(音楽講座、料理講座、語学講座など)

生涯学習人材バンク(登録者数)

分野	内容	人数(団体)
語学	英語・中国語・韓国語	5
音楽・芸能	ピアノ・ギター・ハーモニカ・コカリナ・合唱・カラオケ他	10
美術	書道・絵画・陶芸・切り絵	8
手芸等	押し花・皮革細工・和裁・パッチワーク・ビーズアクセサリ他	9
生活・教養	そろばん・郷土料理・食育・介護・石鹸づくり・菊づくり他	11
スポーツ・野外活動	スキー・ダンス・ヨガ・自然観察	6
計		49

※人材バンクを活用した開講講座(開講予定講座)

(語学) 基礎英語講座、初級中国語講座、たのしいハングル講座

(音楽・芸能) 大人の「はじめてのピアノ」講座、初級ハーモニカ講座、音楽de脳トレ講座

(美術) 実用書道講座、陶芸講座、小学生書道教室(毛筆、硬筆)、写真講座

(手芸等) チョークアート講座、プリザーブドフラワー講座、ビーズアクセサリ講座、
季節のハーバリウム講座、浴衣作り講座

(生活・教養) 小学生季節の食育講座、石鹸づくり講座

(野外活動) 里山魅力探し講座、湯沢の自然と歴史に触れる講座

社会教育関係団体(自主サークル等)

社会教育法第10条に規定する「社会教育関係団体」を教育委員会に登録することで明確化し、当該団体が公民館等で社会教育の目的や公共のために活動する際、使用料の免除や減免を受けることができるもの。芸能協会及び体育協会加盟団体は登録団体とみなす。湯沢町では2年毎に申請・登録することとしている。

湯沢町公民館・湯沢学園・旧小学校施設・湯沢カルチャーセンターで定期的に活動している団体(芸能協会、体育協会は除く)は、平成31年4月現在 50団体 延1263名 となっている。

6. 公民館事業

公民館事業

事業名	開催期日	内容	備考
笛田博昭オペラコンサート	7月6日(土)	湯沢出身のテノール歌手笛田博昭氏の凱旋コンサート	
湯沢町成人式	8月14日(水)	記念式典他	第二部は実行委員会主催イベント
ふれあいコンサート	9月1日(日)	地元音楽愛好者による手作りコンサート	第15回
国民文化祭 現代童画会越後湯沢巡回展	9月14日(土)～ 9月24日(火)	新潟で開催される国民文化祭の市町村独自企画として開催。(現代童画会選抜展を誘致)	国民文化祭湯沢町実行委員会
湯沢町総合文化祭	11月2日(土)～ 11月4日(月)	町民の作品展覧会	文化祭実行委員会
湯沢町芸能発表会	11月10日(日)	芸能発表会	芸能協会共催
越後湯沢全国童画展	平成32年3月7日(土)～ 3月16日(月)	第24回越後湯沢全国童画展	越後湯沢全国童画展実行委員会・運営委員会
貸館事業	通年	公民館施設の貸館業務(一般・定期)・ 学校開放	
図書室事業	通年	図書閲覧・貸し出し・ブックスタート・フリースポット	

※国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭にいがた大会が9月15日(日)～11月30日(土)開催する。
期間中、町実施の文化イベントは連携事業として位置付ける。

公民館利用者数

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	備考
貸館者数 (人)	16,361	16,239	15,484	15,846	16,495	15,756	
貸館件数 (件)	1,783	1,747	1,627	1,716	1,766	1,820	
入館者数 (人)	53,538	49,786	53,186	50,003	49,608	47,114	
図書室入室者数(人)	31,645	29,331	28,138	25,850	25,640	24,448	

公民館図書室

専門家によって選定された各分野にわたる図書が新刊で入手できる図書館流通センターの「ベルシステム」を利用し、図書の充実をはかり町民のニーズにこたえられるような図書室をめざします。また、広報を通じ、町民に図書室の利用促進を図ります。

図書検索貸出システムの導入によって、利用者の利便性の向上や貸出手続き等を簡素化します。

◎図書の貸出し冊数

◎蔵書冊数

◎登録者数

年度	貸出冊数		蔵書冊数	開架冊数	受入冊数	登録者数		
	町内	町外				町内	町外	ほか学園児童
26	11,390	町内 9,995	17,392	17,392	866	703	町内 585	ほか学園児童 508
		町外 1,395					町外 118	
27	10,444	町内 8,854	17,901	17,901	788	1,073	町内 884	ほか学園児童 498
		町外 1,590					町外 189	
28	9,626	町内 7,991	17,857	17,857	717	1,317	町内 1,076	ほか学園 499
		町外 1,635					町外 241	
29	10,227	町内 8,773	18,530	18,530	673	1,434	町内 1,171	ほか学園 480
		町外 1,454					町外 263	
30	9,325	町内 7,817	19,233	19,233	703	1,619	町内 1,311	ほか学園
		町外 1,508					町外 308	

備考 ・平成26年9月より公民館図書室、湯沢学園図書室に図書検索システムを導入
 ・開架冊数は、図書室に備えてある数
 ・受入冊数は、年度内に新規購入等した数
 ・魚沼地域定住自立圏構想により、平成31年4月1日から魚沼市、南魚沼市、湯沢町の図書館・図書室の相互利用が可能となる。なお、南魚沼市との広域利用は平成10年6月より開始
 (南魚沼市 H30 登録者数 58 名、累計登録者数 362 人、H30 貸し出し実利用者数 196 名、H30 貸し出し冊数 6,248 冊)

◎図書室事業

- ・新刊図書、雑誌コーナー、ふるさとコーナー、絵本コーナーの充実
- ・新刊図書紹介（ホームページ）
- ・絵本のひろば（虹の会）
- ・蔵書点検（随時）※H31 実施予定
- ・ブックスタート（4か月検診時に絵本の読み聞かせの薦めと絵本の配布）
- ・フリースポット（無線 LAN アクセスポイントを設置した公共空間の提供）

◎学習室利用状況（1階研修室を開放）

H27 10人 H28 73人 H29 139人（8月52人） H30 173人（2月54人）

湯沢学園図書室（一般開放）

湯沢学園図書室では毎週土曜日に一般開放を行っています。

◎蔵書冊数

◎入館者数

◎図書貸出し冊数

年度	湯沢学園児童用	湯沢学園一般開放用	開館日数	入館者数	貸出冊数
27	18,313	1,114	153	772	109
28	17,710	1,049	77	370	42
29	16,607	1,049	70	278	35
30	16,913	1,049	37	114	10

7. 地区館事業

三国地区

期 日	事 業 名	対 象	備 考
5月中旬～	エアロビクス教室(前期)	地区民	
9月下旬～	エアロビクス教室(後期)	地区民	
5月	スポーツ大会	地区民	H30:スリッパ卓球大会
3月	スキーを楽しむ会	地区民	スキー、スノーシュー

三俣地区

期 日	事 業 名	対 象	備 考
8月14日(水)	盆踊り	地区民	
9月	スポーツ大会	地区民	グラウンドゴルフ 雨天時:ラダーゲッター
11月	三俣地区文化祭	地区民	
1月11日(土)	しめやき(どんど焼き)	地区民	
3月	雪合戦大会	地区民	

神立地区

期 日	事 業 名	対 象	備 考
6月、11月	神立公民館報発行	地区全世帯	2回
5月～11月	花いっぱい運動	地区民	
9月23日(月)	神立地区ふれあい大運動会	地区民	
10月14日(月)	スポーツ大会	地区民	グラウンドゴルフ
2月	スノーシュー散策	地区民	

土樽地区

期 日	事 業 名	対 象	備 考
9月15日(日)	土樽地区町民大運動会	地区民	(9月第3日曜)
11月17日(日)	地区の食文化講座	地区民	

湯沢地区

期 日	事 業 名	対 象	備 考
9月23日(月)	湯沢地区町民運動会	地区民	
10月31日(木)	町総合文化祭(準備)	分館長	
11月4日(月)	町総合文化祭(後片付け)	分館長	
11月17日(日)	文化体験事業	地区民	

地区館決算

(平成30年度)

	三国地区館	三俣地区館	神立地区館	土樽地区館	湯沢地区館	計
報 酬	110,000	170,000	350,000	500,000	620,000	1,750,000
※報 償 費	30,000	-	-	10,000	-	40,000
費用弁償	2,800	2,120	7,340	31,520	11,940	55,720
※需用費	23,076	73,925	89,794	95,286	30,249	312,330
※役 務 費 (保険料)	- 78,000	- 42,000	- 96,000	- 114,000	9,180 114,000	9,180 444,000
※委 託 料	-	10,800	-	-	-	10,800
※借 上 料	-	4,860	4,800	-	14,000	23,660
※事業費計	53,076	89,585	94,594	105,286	53,429	395,970
計	243,876	303,705	547,934	750,806	799,369	2,645,690

地区館配分予算

(平成31年度)

	三国地区館	三俣地区館	神立地区館	土樽地区館	湯沢地区館	計
報 酬	110,000	170,000	350,000	530,000	620,000	1,780,000
※報 償 費	30,000	-	10,000	10,000	10,000	60,000
費用弁償	12,000	8,000	15,000	30,000	17,000	82,000
※需用費	110,000	130,000	142,000	158,000	180,000	720,000
※役 務 費 (保険料)	- 78,000	8,000 42,000	10,000 96,000	32,000 114,000	10,000 114,000	60,000 444,000
※委 託 料	-	10,000	-	10,000	-	20,000
※借 上 料	-	10,000	30,000	-	40,000	80,000
※事業費計	140,000	158,000	192,000	210,000	240,000	940,000
計	340,000	378,000	653,000	884,000	991,000	3,246,000

※印は、各地区館事業を行うための予算です。

8. 社会体育事業等

社会体育目標

「楽しもうスポーツ、つくろう仲間と健康」をスローガンに、生涯スポーツ活動の普及推進を図るとともに、大会、教室等の開催を通じ、町民間の交流を深める。

社会体育重点施策

- 1) 生涯スポーツの推進・・・・・・・・・・総合型地域スポーツクラブ（ユースポ！）への支援及び連携
スポーツ推進委員、体育協会の自主的活動の支援
スポーツ大会、教室等の開催
- 2) 競技スポーツの強化・・・・・・・・・・全国大会出場者激励金の支給
- 3) スポーツ施設の整備拡充・・・・・・・・学校開放事業の促進
- 4) 広報活動の推進・・・・・・・・・・町広報紙への掲載、ホームページへの掲載
- 5) スキー振興と・・・・・・・・・・スキーリフト等共通乗車証の発行
ジュニアスキー選手の育成　　スキー連盟・学校・総合型地域スポーツクラブとの連携
湯沢町ジュニアスキー選手育成会活動の支援

◎スポーツ大会・イベント

大会名	期 日	会 場	備 考
第19回町民ソフトバレーボール大会	6月30日(日)	湯沢カルチャーセンター他	公民館・ユースポ 共催
第4回町民グラウンドゴルフ大会	7月13日(土)	中央公園グラウンドゴルフ場	公民館・ユースポ 共催
第45回町民ソフトボール大会	8月25日(日)	中央公園野球場他	公民館・ユースポ 共催
町民ハイキング	10月中旬	未定	ユースポ主催 スポーツ推進委員主管

◎スポーツ教室

事業名	期 日	会 場	備 考
おやこで GENKI 教室	5月～11月(月1回)	湯沢カルチャーセンター	ユースポ主催 スポーツ推進委員主管
たまにはみんなでウォーキング	4月～11月(月1回)	町内	ユースポ主催 スポーツ推進委員主管
フリースポーツデイ (スポーツ体験教室)	4月～11月(月1回)	湯沢カルチャーセンター	ユースポ主催 スポーツ推進委員主管
ジュニア選手合同トレーニング	5月～11月(月1回)	町内	ユースポ主催 スポーツ推進委員主管

◎スキー振興

事業名	期 間	内 容	備 考
ジュニアスキー選手育成	年間	アルペン&クロスカントリースキー選手育成	育成会活動支援

◎補助事業

事業名	内 容	対象および自己負担額
スキーリフト等 共通乗車証の発行 及び一部助成事業 (小・中学生)	町内11のスキー場のリフト等を利用 できる「共通乗車証」を発行する。 小・中学生への助成を行い、スキー振 興を図る。	小・中学生:10,000円等(町助成有り) 保護者:25,000円(15,000円) 高校生:15,000円、シニア:20,000円 一般:45,000円

令和元年度 湯沢町総合型地域スポーツクラブ NPO法人 ユースポ！事業計画

子どもの教室

教室名	対象	定員	期間	会場
にこにこスポーツ教室 わんこ	小学1～3年生(4年生以上はご相談ください)	20名	3か月クール×2期	カルチャーセンター
にこにこスポーツ教室 ひよこ	保育園・幼稚園年長	20名		
にこにこスポーツ教室 おやこ	保育園・幼稚園年中・年少と保護者	20組		
オーロラ初級水泳教室 月曜①	小学1～4年生	50名	5/7～7/9(10回)	レジャープールオーロラ
オーロラ初級水泳教室 月曜②	保育園・幼稚園年長	40名	5/7～6/11(6回)	
オーロラ初級水泳教室 木曜	小学1～2年生	20名	5/11～7/13(10回)	
ジュニア水泳教室 中・上級	小学3～6年生の中・上級者	20名	5～10月(17回)	湯沢学園室内プール
ジュニア女子バレーボール教室	小学1～6年生の女子	25名	通年	カルチャーセンター
ジュニアテニス教室	小学1～6年生	20名	5月～10月	中央公園テニスコート
ヒップホップ ①	保育園・幼稚園年小～小学1年生	20名	3か月クール×4期	カルチャーセンター
ヒップホップ ②	小学2～4年生	20名	3か月クール×4期	
ヒップホップ ③	小学5～6年生	20名	3か月クール×4期	
フラダンス	保育園・幼稚園年少～小学6年生	20名	3か月クール×4期	カルチャーセンター

大人の教室

教室名	対象	定員	期間	会場
ピラティスエクササイズ 昼	16歳以上	30名	3か月クール×4期	カルチャーセンター
ピラティスエクササイズ 夜	中学生以上	30名	3か月クール×4期	
ヨーガ 昼	16歳以上	30名	3か月クール×4期	カルチャーセンター
ヨーガ 夜	中学生以上	30名	3か月クール×4期	
居合道	中学生以上	10名	3か月クール×4期	カルチャーセンター
太極拳	16歳以上	20名	3か月クール×4期	カルチャーセンター
ブートキャンプ	中学生以上	15名	3か月クール×4期	カルチャーセンター
ステップボクシング	高校生以上	15名	3か月クール×3期	カルチャーセンター
アクアエクササイズ 火《夜》	中学生以上	15名	3か月クール×4期	健康増進センター内 プール
アクアエクササイズ 木《夜》	中学生以上	15名	3か月クール×4期	
アクアエクササイズ 月～金《昼》	16歳以上	15名	通年	

1回から参加できる教室

教室名	対象	定員	期間	会場
おやこでGENKI教室	保育園・幼稚園年中～小学3年生とその保護者	20名	5月～11月 月1回 1～3月 月2回	カルチャーセンター 町内スキー場他
たまにはみんなでウォーキング &ノルディックウォーキング	誰でもOK(小学生以下は保護者と参加)	20名	4月～11月 月1回程度	湯沢周辺
ジュニア合同トレーニング	小学生	20名	5月～11月 月1回程度	カルチャーセンター
けんこつ体操 たなか	誰でもOK(小学生以下は保護者と参加)	各会場20名	通年	神立中央集会所
けんこつ体操 さかえちよう				神立中央会館
けんこつ体操 なかざと				農山村総合開発センター・萩原集会所
けんこつ体操 しもしゆく				下湯沢公民館
けんこつ体操 まちなか				総合福祉センター
ストレッチング	中学生以上	20名	1クール5回×年4回	カルチャーセンター
笑いヨガ	誰でもOK(小学生以下は保護者と参加)	20名	通年	総合福祉センター
トレーニングマシン使用法講習会	16歳以上	10名	月1回	カルチャーセンター
パーソナルレッスン	誰でもOK	1～3名	予約制	
健康ウォーク歩いてマンボット	誰でもOK		エントリーから1年	

その他

教室名	対象	定員	期間	会場
指導者派遣			予約制	
短期集中講座			随時	
サイクリングクラブ会員			募集中	

イベント

教室名	対象	定員	期日	会場
町民ソフトバレーボール大会	湯沢町にお住まいの方	—	6月30日	カルチャーセンター他
町民ソフトボール大会		—	8月25日	中央公園他
町民グラウンドゴルフ大会		—	7月13日	中央公園グラウンドゴルフ場
町民ゲートボール大会		—		
フリースポーツデイ	誰でもOK(小学生以下は保護者と参加)	—	4/29 10/20	カルチャーセンター他

9. 青少年健全育成事業・青少年教育

青少年健全育成事業

(主管：子育て支援課)

事務局：湯沢学園内地域交流センター

1. 基本方針

「大人が変われば、子どもも変わる」を理念に、学校教育活動を踏まえ、関係機関・団体及び地域社会と連携し、湯沢町の青少年健全育成活動を展開する。

2. 活動の重点

- 1) 青少年の健全育成を図るため、学校・関係機関・各種団体及び地域社会の理解を深め、連携を密にした活動を推進する。
- 2) だれでも参加し、誰にでもできる健全育成活動を展開する。
- 3) 「ふるさと湯沢の心」と「生活の知恵」を子どもに伝えていく。
- 4) 親子の悩みの解消と子育てに喜びが得られる活動を推進する。
- 5) 子どもが過ごしやすい社会環境の整備に努める。
- 6) 社会生活にふさわしくない言動の未然防止に努める。

3. 活動計画

1) 育成・広報活動

活動名	内 容	期 日	備 考
あいさつ運動	毎月、湯沢学園校門前、各地区バス停でPTAと共に行う。	4～3月	学校・PTAの協力
広報啓発活動	青少年の非行、被害防止全国強調月間 青少年健全育成強調月間の垂れ幕掲示	7月、11月	
育成事業の協力	夏休み体験学習の指導・協力 育成活動の指導・協力	7～8月 随時	
育成センター だよりの発行	育成センターの活動報告、青少年への啓蒙を行う。		

2) 環境浄化活動

活動名	内 容	期 日	備 考
社会環境実態調査	青少年を取り巻く社会環境実態調査を実施し、 町の実態を把握する。(コンビニエンスストアでの 酒・タバコ等調査、書店での有害図書調査)	7月	
水難事故防止	町内の危険箇所等の把握と情報の提供	6月	
浄化活動協力要請	電柱等の有害ビラの撤去活動	8月	
環境整備巡回活動	青少年のたまり場になり易い所を巡回する	随時	関係機関と連携

3) 非行防止活動

活動名	内 容	期 日	備 考
巡回・情報収集活動	街頭、店舗、娯楽施設等たまり場の巡回活動	随時	
薬物乱用防止	情報収集と対処	随時	関係機関と連携
育成指導員へ メール配信	不審者情報等のメール配信 ・ひかる君ひかりちゃん安心メール ・南魚沼地域安全協会 安全安心メール	随時	

4) 相談業務

活動名	内 容	期 日	備 考
子ども電話相談	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年自身の悩み事について電話相談と助言を行う ・関係機関等の紹介と連絡を密にして解決への協力活動をする ・電子メール相談を活用する E-mail: ikusei@town.yuzawa.lg.jp	年間	電話相談 月～金 8:30～17:00 Tel:784-3033 メール相談

学 園 支 援 事 業 (主管：子育て支援課)

学校・家庭・地域が連携して、地域ぐるみで子どもを育てていく学園支援活動を行っています。学園支援事業は、地域学校協働本部を拠点に湯沢町学校支援コーディネーター連絡会を作り、活動を行っています。この連絡会は、学園支援コーディネーターを中心に学園や地域の要望を取りまとめ、ボランティアの協力体制を整備し、授業やクラブ活動の補助、環境整備、登下校の見守りなどの活動をボランティアと共に行っています。学園支援コーディネーターは、学校統合前には地域コーディネーターとして活躍していましたが、湯沢学園では担当事業をコーディネートする役割に変わりました。

<ボランティア支援事業>

【学園支援コーディネーター：4名、ボランティア登録者数：141名】

事業名	内 容	備 考
環境美化	校舎清掃、花植え、学校整備、田畑等	
学習支援	スキー・水泳、音楽、書道、コンピューター、サマー学習、町探検等	
クラブ活動指導	昔遊び、手芸・ミシン・料理、絵画・工作、踊り・ダンス、囲碁・将棋等	
図書	本整理、返却・貸出、絵本読み聞かせ等	
通学見守り	登下校見守り、スクールバス見守り、ながら見守り等	
その他	交流ひろば等	

青少年教育事業

21世紀を担う湯沢町青少年を育てるために、地域・家庭・学校と連携を密にしながら、生活・自然体験・ボランティア活動等とおして、連帯意識・自主自立性を育て社会参加を進めるため、年齢・学年に応じて次の事業を実施する。

<青少年教育事業> (主管：子育て支援課)

NO	事業名	内 容	対 象	回数	備 考
1	野外観察学習	星コース：星座と宇宙への夢	小・中・保護者	1	夏休み実施
2	湯沢町施設探訪 (施設の見学)	東京電力ホールディングス(株)	小・中学生 保護者	1	夏休み実施
3	もの作り体験	夏休みもの作り体験教室	小・中学生 保護者	3	夏休み実施
4	おんがくひろば	夏期小学生音楽クラブ	小学生	5	8月の火・金実施 年間第1・3日曜日
		コカリナキッズ	小・中・保護者	24	
5	ものづくりひろば	ものづくり体験教室	小学生	46	週1回程度実施 (夏休みを除く)
7	和太鼓継承事業	雪おろし太鼓継承	小・中学生・大人	24	小中学生 月2回
8	絵本の読み聞かせ	絵本の読み聞かせボランティアによる読み聞かせ	認定こども園児	9	6月・11月

<青少年公民館講座> (主管：生涯学習係)

NO	事業名	内 容	対 象	回数	備 考
1	書 道 教 室	書道の筆使いの基本、正しい書体や書き順を学ぶ。書き初めの練習等	小学生	夏休3 冬休3	人材バンクの活用
2	季節の食育講座	季節のお菓子づくりを通じて「食」への興味・関心を持つ。 調理指導と食育講座	小学生 保護者	数回	人材バンクの活用 保健センター共催

<助成事業> (主管：生涯学習係)

NO	事業名	内 容	対 象	期日	備 考
1	青少年海外研修等 助成事業	教育、芸術・文化、スポーツ等の振興、向上を図り国際理解や国際的な視野を広める。	中学生以上～ 25歳未満	年間	費用の1/3助成 限度額20万

10. 芸術・文化の振興

童画のまちづくり

1) 越後湯沢全国童画展の開催

湯沢町では、平成5年川上四郎作品展を開催、それを契機に川上画伯の功績を永く伝えるとともに童画の持つ創造性や文化性を織り込んだ個性あふれる魅力的な童画でつくるまちづくりを目指し、平成8年度から日本童画の父川上四郎記念「越後湯沢全国童画展」として開催、今年度は第24回を数え、童画の全国的公募展として定着してきています。

<応募点数等の推移>

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回
応募点数	170	327	349	408	402	400	611	442	345	281	254	249
応募人数	170	327	349	408	402	400	611	442	345	235	205	210
入賞点数	63	66	68	68	68	68	68	68	68	68	67	59
買上・受領	51	39	26	30	42	45	39	42	38	41	40	45
	13回	14回	15回	16回	17回	18回	19回	20回	21回	22回	23回	計
応募点数	236	225	195	204	260	287	299	203	252	261	250	6,910
応募人数	190	185	163	164	212	226	246	161	201	207	206	6,265
入賞点数	58	66	48	51	51	51	51	51	51	52	51	1,380
買上・受領	41	43	38	32	36	35	38	34	31	28	26	860

2) まちなか美術館

町民に根ざした「童画のまちづくり」を進めるため、童画展入賞作品を湯沢町内の童画鑑賞が可能な展示場所（まちなか美術館）に展示し、身近な場所で童画の持つ素晴らしさに触れられるよう、充実を図る。まちなか美術館については役場をはじめ公民館、保健医療センター、カルチャーセンター、湯沢学園、町営公衆浴場、町内金融機関、JR越後湯沢駅、旅館・ホテル等町内各所に童画を展示し、町民をはじめ観光客等多くの方の目に触れ、親しんで頂ける場を提供する。

今年度は、個人への貸出展示など検討する。

3) 川上四郎原画常設展

宿場の湯ギャラリーに川上四郎原画常設展を設置し、5点の原画を展示してる。加えて30点の川上四郎復彩画を展示し、「童画のまち ゆざわ」を発信している。

4) 県内での展示

新潟ふるさと村での企画展の開催（11月）、そのほか県内公民館、美術館での展示を推進する。

5) 現代童画会との連携

2019国民文化祭 市町村独自事業として、「現代童画会 越後湯沢巡回展」を開催する。

また、現代童画会員から越後湯沢全国童画展へ出品いただくとともに、湯沢町が現代童画会の活動に協力することで、童画界の発展に寄与していく。

6) 童画美術館建設

童画美術館建設へ向け、建設場所、運営方法など検討を進める。

7) 販売印刷物の作成

川上四郎ポストカードの作成

童画作品集第8集の刊行

1 1. 文化財保護事業

湯沢町の文化財

文化財は、祖先が営々として築いてきた文化の遺産であり、一旦破壊されると再現されることのできない貴重な財産である。これを保存し後世に引き継いでいくことが我々の責務である。

埋蔵文化財は、地中に埋もれている文化財であり、その中心となるものは、土器・古銭・遺跡等で、土地と深い関わりを持っている。平成 12 年に川久保遺跡で発掘された県内最古の約 4500 年前の「敷石住居跡」はこの最たるものであり長く保存をしていくこととする。(H29 雪国館で復元展示を実施)

公共事業・宅地開発等により、埋蔵文化財の保護環境の変化は確実に進んでいる。このような状況の中で史跡文化財の保護・保全を図っていく。

昨年、建物が町に譲渡された新潟県指定文化財三国街道脇本陣跡池田家の活用について検討を進める。湯沢町の古文書を読み解く講座を開設し、湯沢町の歴史に興味を持つ方を増やす。

国指定文化財

種 別	名 称	住 所	指 定 日
名 勝	清 津 峽	湯沢町大字三俣	昭和 16 年 4 月 23 日

国登録有形文化財 (建造物)

種 別	名 称	住 所	指 定 日
登録有形文化財	大源太川第 1 号砂防堰堤	湯沢町大字土樽	平成 15 年 7 月 1 日

県指定文化財

種 別	名 称	住 所	指 定 日
史跡 (江戸時代)	三国街道脇本陣跡池田家 1 棟	湯沢町大字三俣	昭和 29 年 2 月 10 日
史跡 (室町時代)	荒 戸 城 跡	湯沢町大字神立及び三俣	昭和 51 年 3 月 31 日

町指定文化財

種 別	名 称	住 所	指 定 日
史 跡	寄 居 城 跡	湯沢町大字三国字寄居 205 番地	昭和 46 年 6 月 1 日
有形文化財書跡	川端康成書軸物 1 本	湯沢町大字湯沢 354 番地 1 湯沢町歴史民俗資料館「雪国館」	昭和 63 年 4 月 1 日
有形民俗文化財信仰	小坂百庚申塔 一群	湯沢町大字土樽 1570 番地	昭和 63 年 4 月 1 日
天然記念植物	荒谷毘沙門堂の大杉 3 本	湯沢町大字神立 1870 番地 1	昭和 63 年 4 月 1 日
天然記念植物	諏訪社の大杉 1 本	湯沢町大字湯沢 858 番地	昭和 63 年 4 月 1 日
有形文化財彫刻	仁王像 2 体	湯沢町大字土樽 6128 番地 4 「瑞祥庵山門」	平成 2 年 4 月 2 日
有形文化財彫刻	元三国峠権現堂扉 8 枚	湯沢町大字湯沢 919 番地	平成 2 年 4 月 2 日
有形文化財彫刻	愛染明王座像 1 体	湯沢町大字神立 2784 番地「個人蔵」	平成 2 年 12 月 12 日
史 跡	三国街道二居本陣富沢家 1 棟	湯沢町大字三国 887 番地	平成 13 年 9 月 10 日
無形文化財	旧小学校歌 5 校歌	湯沢町大字神立 300 番地	平成 26 年 4 月 1 日

『雪国館』歴史民俗資料館の運営

『雪国館』については、平成25年度より管理運営が指定管理者（湯沢町観光協会）に移行しました。貴重な歴史・民俗資料等の保全管理は引き続き、町が関与するとともに、行政側の窓口を設置し、指定管理者による管理運営が円滑に進むよう連携していきます。

歴史民俗資料館 年度別入込み状況

年度	個人		団体		割引		セツ券	無料	合計	入館料
	大人	子供	大人	子供	大人	子供				
H21年度	9,054	462	2,604	249	2,808	131	73	1,361	16,742	6,908,850
H22年度	6,730	355	1,722	291	2,234	110	96	1,577	13,115	5,148,492
H23年度	5,960	366	1,852	265	1,991	105	42	1,683	12,264	4,697,400
H24年度	6,334	460	1,351	191	1,825	61	74	1,501	11,797	4,628,700
H25年度	6,312	632	1,582	46	1,983	53	36	1,813	12,457	4,672,150
H26年度	7,149	752	1,537	101	1,792	57	29	1,554	12,971	5,004,000
H27年度	7,245	787	912	103	2,073	77	23	1,453	12,673	4,943,800
H28年度	6,842	794	772	17	2,042	84	32	1,915	12,498	4,657,000
H29年度	7,606	805	1,177	119	2,016	91	7	2,018	13,835	5,208,250
H30年度	7,409	764	1,273	119	1,506	60	3	1,683	12,817	4,921,950

平成31年度の主な事業等

(1) 企画事業の実施

○国民文化祭連携事業

今年度の軸となる事業として秋季に展開。国民文化祭の連携を密にしたなかで展開する。

○夏休み企画 「子ども無料入館対応」などの夏休み企画を継続実施する。

○GW企画 夏休みの企画に追加して、同企画をGW期間も実施する。

○ワラ細工関連の体験や実演、対談イベント

雪国の文化を感じられるような企画を軸として実施する。

○石川雲蝶 中島すい子さんによる講演会等を予定（詳細等未定）。

(2) 川上四郎作品の展示

シニア層の人気の高い分野につき、川上四郎に関する展示を今年度も継続実施。

(3) 物品販売

当地の文化風俗にかかわりが深いものを中心に仕入れ販売を行なう。商品のラインナップを増加するなどし、収益の更なる増加を目指す。バーコード管理を導入。

(4) サービスの向上

障がい者の入館案内など

(5) 広域連携事業

湯沢町及び南魚沼市の12の文化施設の連携母体である「南魚沼・湯沢ミュージアム連絡協議会」での事業を軸にする。12館の相互優待制度である「雪国アート回廊」をメインに各館の入館者増加に繋げる。

一人ひとりが地域の子育てサポーター



社会全体で子どもをはぐくむ運動